

令和6年度 第1回東京都かかりつけ医認知症研修 カリキュラム

講義（ポータルサイトによるオンライン研修）

配信期間：令和6年10月1日（火曜日）から令和6年10月15日（火曜日）まで

講義時間	内容	講師
180分	かかりつけ医の役割 基本知識 診療における実践 地域・生活における実践	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 認知症疾患医療センター センター長 古田 光 他

◎受講前に下記の受講環境が整っているかをご確認ください。

・インターネット環境

※パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれも受講可能です。

※特にスマートフォンによる受講の場合は、パケット通信料が発生するため、Wi-Fi環境での受講を推奨いたします。

◎講義を受講する際は、「東京都かかりつけ医認知症研修 参考資料」と「東京都かかりつけ医認知症研修テキスト」をご用意ください。

東京都かかりつけ医認知症研修 標準カリキュラム

1 かかりつけ医の役割	ねらい	認知症の人や家族を支えるためにかかりつけ医ができることを理解する
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 認知症施策推進大綱等の施策の目的を踏まえ、かかりつけ医の役割を理解する 2 認知症の人の本人視点を重視したアプローチの重要性を理解する 3 早期診断・早期対応の意義・重要性を理解する
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を取り巻く施策（認知症施策推進大綱等） ・早期発見・早期対応の意義 ・かかりつけ医に期待される役割 ・本人の視点を重視したアプローチ ・診断後の支援
2 基本知識	ねらい	認知症に関する基本的な知識・診断の原則を理解する
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 認知症の主な原因疾患及びその症状や経過等を理解する 2 認知症の診断基準及び診断のポイントを理解する 3 認知症の診断の手順及び鑑別すべき疾患について理解する
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の原因疾患 ・認知症の診断基準 ・認知症の診断のポイント（画像診断・鑑別診断のポイント等） ・認知症と鑑別すべき他の疾患
3 診療における実践	ねらい	認知症のアセスメント及び具体的な対応の原則を踏まえた、診療におけるマネジメントを理解する
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 認知症の問診・アセスメントのポイントを理解する 2 認知症の治療についての原則・具体的な方法について理解する 3 行動・心理症状（BPSD）に対する対応の原則を理解する 4 治療期の本人・家族への対応及び実践上のポイントを理解する
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期の対応のポイント ・認知症の問診・アセスメント ・認知症の診療におけるマネジメント（非薬物・薬物療法等） ・BPSDに対する対応 ・認知症治療における留意点 ・本人・家族（介護者）への対応
4 地域・生活における実践	ねらい	認知症の人の地域における生活を支えるために必要な支援の基本、活用できる医療・介護等の施策、多職種連携の重要性を理解する
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 かかりつけ医による認知症ケアのポイントを理解する 2 認知症である人が医療・介護等の施策や制度を活用するために必要なかかりつけ医の役割を理解する 3 多職種連携による支援体制構築におけるかかりつけ医の役割を理解する
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア・支援の基本 ・認知症の人の意思決定の支援について ・認知症の医療・介護に関する施策・制度等 ・多職種連携